

平成 29 年度中山道広重美術館事業計画

中山道広重美術館は、ことし開館 16 年目を迎える。また、当公益財団法人が恵那市から中山道広重美術館の指定管理業務を受託して 3 年目となる。あらためて中山道広重美術館の使命を果たし、成果を最大化するよういっそう努めなければならない。

当館は風景画の名手「広重」の名を冠する、地方には珍しい浮世絵の専門美術館である。歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や、体験・学習などの仕組みを通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努める。

まず展示事業では、春の特別企画展として「名所江戸百景一切り取られた町の風景－」を開催する。この展覧会では、広重最晩年の傑作で亡くなる直前まで制作された《名所江戸百景》を前後期に分けて全点展示。広重の絵作りの妙技を楽しんでいただく。

9 月には、昨年度はお休みした恒例の特別展観「木曾海道六拾九次之内」が復活。当館コレクションの中でも最も美しい《木曾海道六拾九次之内》全点を堪能していただく。続いて 10 月からは「浮世絵ねこの世界展」を開催する。当館に猫を描いたユニークな浮世絵が大集合。空前の猫ブームともいわれる現在だが、江戸の浮世絵師たちも猫を愛した。12 月 10 日までの 2 カ月余りの期間、美術館が猫の世界と化す。

教育普及事業では、連続講座「歌川列伝！」を開講する。江戸末期には、「歌川派にあらずんば絵師にあらず」といわれるほど隆盛を極めた歌川派。広重も属するこの流派の絵師に焦点を当て、えりすぐり講師陣により絵師や作品の魅力を再考する。また、長年要望のあった学芸員実習の受け入れを始めるとともに、第 14 回広重賞こども版画コンクールを開催する。

そのほか、1400 点を数えるに至った当館収蔵作品のデータベースを再構築する。約 15 年間にわたる入力情報の不統一などを見直し、使い易く修正してデータの公開を目指したい。また、阿部出版とのコラボレーションにより、当館所蔵の広重の五大東海道シリーズを収録した図録を刊行する。さらに、恵那市の事業に協力して第 1、第 2 展示室の照明を LED 化し、省エネルギー活動にも取り組みたい。

以上、15 年間にわたって積み上げてきた活動の一つ一つを大切にしながら、一方では新しい試みにも挑戦しつつ、新たな歴史を築いていきたい。

1. 公益目的事業

展示

	区分	事業名	開催期間	事業概要
1	特別企画展	名所江戸百景一切り取られた町の風景－	前期 3 月 30 日（木） ～5 月 7 日（日） 後期 5 月 11 日（木） ～6 月 11 日（日）	江戸の町を迫力のある構図で切り取った、歌川広重晩年の名所絵の傑作。江戸っ子にとって身近な場所が、広重の手によって斬新な景色に生まれ変わった。広重の絵作りの妙技をお楽しみいただく。

	区分	事業名	開催期間	事業概要
2	企画展	風流の都、天下の台所ー描かれた京阪の名所ー	6月15日（木） ～7月17日（月・祝）	京都、大阪は、江戸と並び三都に数えられる。風景画の達人である広重は、さまざまな土地を描いた。嵐山や淀川の雅やかな風景、活気あふれる大阪の町の風俗。魅力あふれる都市の姿を、広重が描き出す。
3	企画展	道中の楽しみー保永堂版東海道ー	7月21日（金） ～8月27日（日）	歌川広重最大の代表作《東海道五拾三次之内》全55図をご覧いただく。広重は、東海道の憧れた江戸っ子たちを旅の世界へと誘った。臨場感たっぷりに描かれた美しい景色は、今も私たちを引きつける。
4	特別展観	木曾海道六拾九次之内	8月31日（木） ～10月1日（日）	当館コレクションの中でも最も美しい揃物の一つである《木曾海道六拾九次之内》を、全点展示。歌川広重と溪斎英泉、江戸の二大浮世絵師が中山道をテーマに描いたシリーズ。
5	特別企画展	浮世絵ねこの世界展ー愛されニャンコから猫又までー	前期 10月5日（木） ～11月5日（日） 後期 11月9日（木） ～12月10日（日）	空前の猫ブームともいわれる現在。古代から私たちにとって身近な存在であった猫は、江戸時代の浮世絵師たちにも愛された。猫が描かれたユニークな浮世絵が大集合！あなたもニャンダフル・ワールドへ遊びにきませんか。
6	企画展	^め 愛でたい富士山	12月14日（木） ～30年1月21日（日）	日本の象徴として、今も昔も親しまれている富士山は、浮世絵にも登場する。新春の寿ぎにふさわしい、華やかな錦絵に表された富士山をお楽しみいただく。

	区分	事業名	開催期間	事業概要
7	企画展	HIROSHIGE II ー二代広重の軌跡 師の背中を追ってー	1月25日(木) ～2月25日(日)	歌川広重の門人・重宣は、二代広重を名乗り、風景画を描いた。師風を受け継ぎながら名所、街道、花鳥を描いた。
8	企画展	ゆる旅おじさん図譜	3月1日(木)～ 4月1日(日)	風景画が注目される広重の作品だが、実は人物表現にも独特な味わいがある。ひょうきんなおじさん、苦い表情のおじさん…。広重描く、愛嬌たっぷりのおじさんたちをご紹介します。あなたはどのおじさん推しですか。

教育・普及・調査研究等

	区分	事業名	開催時期	事業概要
1	連続講座	歌川列伝！	①5月13日(土) ②7月8日(土) ③9月9日(土) ④11月11日(土) ⑤1月20日(土)	①大久保純一氏(広重の名所絵を特色づける手法や表現を通して、人々に支持された理由を考える)②藤澤紫氏(浮世絵の華と称される美人画。歌川派の絵師が目指した「美しい人」とは何かを、装いの美と共に考える)③藤澤茜氏(臨場感にあふれる初代国貞の役者似顔絵を通じて、江戸後期の歌舞伎の魅力にも迫る)④勝盛典子氏(浮絵に大きな功績を残した豊春と個性的な作品で人気の国芳を中心に、歌川派における洋風表現を見ていく)⑤菅原真弓氏(浮世絵の掉尾 ^{とうび} を飾る明治期の絵師たち。激動の時代を生きた芳年、国周、芳幾らの知られざる魅力を語る)
2	子ども向け教育普及事業	なつやすみ★こどもびじゅつかん	7～8月	夏休み企画展関連イベント。作品を見る、作る楽しみを同時に体験してもらうことを狙いとして開催。

	区分	事業名	開催時期	事業概要
3	研修受け入れ事業	学芸員実習	随時	近年、大学等からの要望が多い学芸員実習を受け入れる。
4	出版事業	東海道五十三次図録の刊行	4月～7月	阿部出版とコラボレーションし、広重の東海道シリーズの図録を刊行する。当館所蔵の保永堂版、隸書版、行書版、狂歌入り、豎絵版の5大シリーズを収録。
5	中央通り商店街連携事業	ゆかたで涼む美術館(夜間開館)	8月中旬	美術館で江戸の夏の風情を楽しんでいただく恒例企画。浴衣でご来館のお客さま各種サービスを実施。中央通り商店街夏祭りと同日に行い、商店街との連携を図る。
6	特別企画展関連イベント	公開講演会	春期・秋季特別企画展会期中	展覧会に関連した内容の講演会等を開催。
7	版画公募展	第14回広重賞こども版画コンクール	7月～3月	市内の子どもたちに、自己を表現する喜びや作品をつくり出す楽しさを体験させることを目的に開催。
8	調査研究事業	収蔵作品データベースの再構築	4月～	当館収蔵作品のデータベースを全て再確認。使い易く再構築して、公開を目指す。
9	平成30年度特別企画展開催に向けての展示作品の調査、研究、及び資料収集。			
10	平成31年度展覧会の企画構想に関する調査、研究。			
11	コレクション形成、新規購入、寄贈作品に関する調査、研究。			

2. 収益事業

- (1) ミュージアムショップの運営
 - ・美術関連商品の企画・販売
 - ・展覧会関係グッズ、図録の販売

3. 管理事業

- (1) 理事会、評議員会の運営
- (2) 美術館施設・設備及び収蔵美術品の適正な管理
 - ・恵那市の事業に協力し、第1展示室、第2展示室の照明をLED化する。
- (3) 法人の運営